



「笑顔とつながり」

永田台

サステイナブルスクール

No.530 3月号
横浜市立永田台小学校
TEL(714)4277
令和2年3月2日



進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに



旅立ちの春を前に・・・

校長 武山 朋子

「現代は先が見えない、予測不能な時代である。」とはまさにその通りで、ほんの1か月前には、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、ここまで国を挙げて取り組むことになろうとは予想もしないことでした。日々新たなニュースが報じられ、不安に感じられている方も多いことと存じますが、どうか落ち着いて正確な情報収集をしていただければと思います。

そんな中、本校も教育長通知により、3月3日（火）から13日（金）まで臨時休業することになりました。これまでも様々な行事の変更や中止を決定してきています。今年度最後の授業参観・懇談会であったり、6年生にとっては小学校生活最後の授業参観を活用した「感謝を伝える会」や思い出に残るはずの「東京見学」であったりしましたから、一つ一つがとても残念なことでした。さらに、6年間の小学校生活を締めくくる大切な行事である卒業式まで、来賓、保護者、在校生の参加ができないという、通常とは大幅に異なる形で実施をせざるを得なくなりました。これまで一人一人の確かな成長をそばで見てきた私たち職員にとっても、立派な巣立ちの姿を保護者の皆様、地域の皆様にご覧いただけないのは本当に残念でなりません。しかしながら、子どもたちの健康と安全を第一に考えるとともに、感染拡大によって重篤な症状に陥る方を少しでも減らさなくてはならないという思いでの対応ですので、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

本当にありがたかったのは、こうした判断について、本校の保護者の皆様がたいへん落ち着いて受け止め、ご協力くださっているということです。そのことが、子どもたち自身の安心と落ち着き、そして笑顔につながっているのは間違いありません。心より感謝申し上げます。今後も、学校にお寄せいただいている信頼に応えるべく、私たち職員もできることに精一杯取り組んでいきます。

先日開催した「若木の会（まちとともに歩む学校づくり懇話会）」では、ご参会いただいた地域の皆様に本校の教育活動についてこんなお声もいただきました。

「廊下のいろいろな掲示物に、子どもの振り返りの言葉が書かれていて、自分の言葉で語る積み重ねが感じられた。」

「個別支援学級を学校の真ん中に、という学校の取り組みがよい。安心できる。」

「先生たちのチームワークがよく、子どもたちもよい意味でにぎやかで、明るく自発的に学んでいる。」

「地域とのつながりが多く感じられる。地域としても張り合いを感じる。」



どのお声も、学校への温かいまなざしに満ちたものでした。こうして見守り育てていただいた卒業生105名は、3月19日に永田台小学校を巣立ちます。持続可能な社会の創り手としての力を確かにその身に備え、新たな一步を踏み出すのです。どうぞこれからも、伸び行く「若木」を見守っていただけますよう心よりお願い申し上げます。